

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 清流の家 泉大津		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 14日 ～ R7年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R7年 2月 14日 ～ R7年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	異年齢の利用者がいる中で、色々なかかわり方を学ぶ事が出来る事。	最初は、スタッフが一緒に関わり、徐々に子ども達だけでコミュニケーションは取れるように促していきます。	最初の声掛けの仕方を、利用者様とスタッフで考えていこうと思います。（色々なお友達がいる中で、どんな声掛けなら対応しやすいかなど）
2	年上のお友達は、年下のお友達の面倒を見て、年下のお友達はその様子を見て、真似をしながら学んでくれる事。	年下のお友達が年上のお友達の真似をし、言うてはいけない事、やってはいけない事を理解していくなかで、自分のやりたいことを通そうとする時、どのような背景があつての行動や言動か、子ども達と話をし、くみ取っていくようにしています。	高学年のお友達にイベント等の進行役、リーダーになってもらう為に、スタッフを交えて会議を開き意見を言い合ったり、協力し合ったり、社会性を身につける事が出来る様に促していく。
3	運動療育や工作、外出など積極的に取り組んでいます。	運動による体力の向上、工作での集中力や微細運動の練習、外出での社会のルールを身につけてもらえるよう心がけています。	一人一人の出来る事、難しい事を見ながら、出来る事を伸ばしていきたいと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や避難訓練など開催していますが、周知されていない。ということ。	周知の手段が少ない。	色々な周知の仕方、で、拡散していきます。
2	夕方、勉強や課題が、集中しづらい環境。	下校時間がそれぞれ違うので、活動内容がばらばらな事。	パーティションや仕切りを使い、それぞれ集中しやすい環境を整えていく。
3	段差が多く、つまづくことがある。	建物の構造上段差がある。	利用者様に危険が無いように、段差を減らすマットを敷いたり、声掛けを強化していきます。